

VISTA 7 ユーザーレポート

東海テレビ放送株式会社様

VISTA 7



新社屋竣工。新館 MA1 に VISTA 7 を導入



東海テレビ放送株式会社
技術局 制作技術部
音声 田名瀬 真

新館 MA1

東海テレビ新館には、MA1、MA2、MA3と3部屋のMA室がつけられました。今回 VISTA 7 を入れた MA1 は、東海テレビで制作される制作、報道、スポーツ等全ての番組に対応した MA 室で、スピーカーを 5.1 サラウンドに対応できる配置で壁面に埋め込んでいます。私自身、新社屋の建設プロジェクトには当初から参加することができ、さらに音響諸室は日東紡音響エンジニアリングに JV のもとで設計、施工をお願いすることが出来ました。MA 室や副調整室は空調や初期の設計が音響的には非常に重要なので、日東紡さんに任せて非常にいいものが出来たと思います。今回は一生に一度あるかないかの新社屋の建設に携われて本当に幸せでした。

VISTA 7 の選定理由

音声卓の選定にあたっては、5.1 サラウンドに対応していて、音が良く、使いやすいことが最低条件でした。昨年更新したばかりの音声中継車にスチューダーの D950M2 が搭載されており、VISTA 7 はその D950 と同じ DSP を使っ

た「MA用の卓」ということで、とても安心感がありました。音質の良さについても D950M2 ですでに体感しているため、まったく不安はありませんでした。また、洗練されたデスクデザインはとても魅力的でしたし、実際に触ってみると、マン・マシンインターフェイスがとても優れていると感じました。マシンルームのラックスペースをとらないのも、隠れた長所だと思います。今回の MA 設備では、異なるフォーマットの映像機器を3部屋で共有できるように、タムラ製作所にて映像機器のマトリクスシステムを構築していただきましたが、そのシステムで使用されているコントローラ izm806 は、VISTA 7 のメーカー純正オプションであるという事実も、大変心強く感じた点でした。

2つのDAW

以前から使用しているフェアライト Mfx3plus はそのまま移設し、今回 ProTools HD を導入しました。フェアライトは信頼性の高さ、操作性の良さから引き続き HD マルチレコーダーとして使用します。ProTools では、より細かい編集ができるようになり、結果的にさらなる作業効率の向上、準備室での仕込みの効率化を図る狙いがあります。既にスタジオ以外の場所で Digi001 等を使用し、編集作業を行っていたため、スタジオに設備したのはあくまでもその延

長線上にあると言えます。さらに ProTools 用として JL Cooper のコントローラーを設置しています。弊社の場合、数人の人間で様々な業務をこなさなくてはならず、現場ではとにかくスピードが求められます。いかに手早く作業を終えられるかを考えた場合、このような専用コントローラーは必要であると考えました。

旧社屋の MA 室は狭くて、クライアントの方が部屋からあふれていたりするほどでした。音響や空調もひどく、とても MA 室とは思えないような部屋でした。新館の MA 室は音響も考慮された部屋になり、最新の MA 卓を導入することができ、今後の東海テレビの番組の音がさらに良くなるのが今から楽しみです。

